会員だより

新入会員ご紹介

大槻理化学株式会社
代表取締役社長　**田中 伸一**



本社・北見営業部

このたび、日本試薬協会へ入会させていただきました大槻理化学株式会社です。会誌の紙面をお借りしまして、北海道北見市に本社を置く弊社の歩み、事業内容、そして私たちが創業以来大切にしている「行動姿勢」についてご紹介させていただきます。

本社のある北見市は、北海道東部に位置するオホーツク圏最大の都市です。2006年3月、1市3町が合併し、新「北見市」が誕生しました。面積は1,427平方キロメートルで、東京都の約65％、香川県の約76％にあたる広さとなっています。

生産量日本一を誇る玉ねぎの産地で、カーリングチーム「ロコ・ソラーレ」の活躍によって、カーリングの町としても全国にその名を知られるようになりました。

北海道とともに歩んだ歴史

弊社の歴史は1963年（昭和38年）7月、大槻中央薬品株式会社の理化学部門として、北見市で創業したことに始まります。その後、釧路・根室地域のお客様のニーズに応えるため1969年に釧路営業所を開設、1977年3月には理化学部門が分離独立して、現在の大槻理化学株式会社が設立されました。1982年には帯広営業所を開設、道東地域に密着した体制を堅固なものとしてまいりました。2002年各拠点の営業部への改組を経て、2022年

に札幌営業部を開設し、４営業部体制で北海道全域のお客様に対して迅速かつ丁寧なサービスを提供できるようになりました。創業から60年余り、北海道という広大なフィールドでお客様とともに歩み続けています。

北海道の研究・産業・医療を支える

弊社は、試薬、臨床検査試薬、ライフサイエンス試薬をはじめ、分析機器、科学機器、理化学器械器具、環境測定機器、工業薬品、食品添加物、医療用機器など、研究・産業・医療の現場で必要とされる幅広い製品を取り扱っています。また、販売だけでなく、機器の据付、メンテナンスといった技術サービスまで提供することでお客様のニーズにお応えしています。

主なお客様は、大学や国立高等専門学校などの教育・研究機関をはじめ、工業・農業・酪農・畜産・水産・林業分野の公的研究機関、官公庁、病院、さらには製薬、乳業、食品、製糖、肥料、飼料などの製造業者様です。
また、市町村の上下水道部門・廃棄物処理、環境コンサルタント業者様ともお取引をいただいており、研究や教育、医療、ものづくり、環境、そして安全な水の供給まで、私たちが扱う一つひとつの製品は、北海道のさまざまな現場とその先にある人々の暮らしにつながっています。

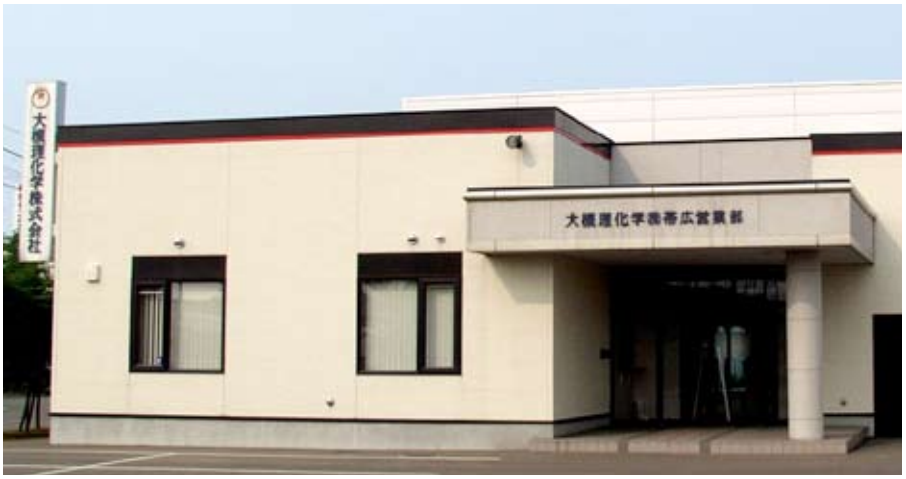
４つの営業部がつなぐ北海道の現場

既述のとおり、弊社は北見・釧路・帯広の道東3拠点を基盤として、長年にわたり地域のお客様との信頼関係を築いてきました。その後2022年、北海道経済の中心である札幌に営業部を開設しました。道東で培ってきた地域密着の強みを生かしながら、札幌という新たな拠点を加えることで、かねてから目指してきた北海道全域への営業展開を本格的に進めています。

4営業部は、それぞれが独立して活動するだけではありません。日々の営業活動を通じて得られたお客様のニーズ、メーカー・仕入先からの情報、さらには各地域で蓄積した知識や経験をタイムリーに拠点間で共有し、相互に連携しています。ある地域で得られた情報が別の地域のお客様への提案につながることもあれば、専門性の高い案件について拠点を越えて相談し、より適切な対応につなげる



釧路営業部



帯広営業部

こともあります。

道東3拠点が長年培ってきた地域とのつながりと、札幌営業部が持つ新たなネットワークを組み合わせることで、北海道という広い地域を一つの営業基盤として捉えられるようになりました。地域ごとの特性を理解しながら、必要な情報や製品、技術サービスを拠点間でつなぎ、お客様のご要望にお応えすることが弊社の大きな強みの一つとなっています。

行動姿勢

弊社が長年にわたり事業を継続し、多くのお客様から信頼を寄せていただいている背景には、社内で脈々と受け継がれてきた「行動姿勢」があります。

「お客様の役に立つ行動を通じて社会の発展に貢献いたします」

これは単なる企業スローガンではなく、営業担当者から技術サービス、事務部門にいたるまで、社員一人ひとりの判断基準や行動指針となっています。お客様にとって何が必要なのかを考え、自らの仕事がどのようにお役に立てるのかを常に問いながら、一つひとつの業務に向き合うことを大切にしています。弊社は商社ですが、提供しているのは商品そのものだけではありません。お客様が抱える課題やニーズを的確に捉え、豊富な商品知識と情報をもとに、最適な製品や運用方法をご提案します。さらに、導入後も機器を安心して使用していただけるよう、小回りの利いたメンテナンス体制を構築するなど、こうした一連の取り組みこそが「お客様の役に立つ行動」であると考えています。

1. お客様の現場課題に寄り添う提案

研究者や技術者、医療従事者、製造現場の皆様が「何に困っているのか」「どのような測定･分析を行いたいのか」を深く理解し、共に考え、豊富な知識と情報力をもって最適な商品・ソリューションを提供しています。

2. 安定かつ迅速な供給体制

製造や検査の現場では、試薬一つ、消耗品一つの欠品が企業活動の停止につながりかねません。北海道という広い地域において、北見・釧路・帯広・札幌の4拠点を活かし、きめ細かな在庫管理と迅速な配送で「現場を止めない」供給を行っています。

3. 安心を届けるアフターフォローと技術サービス

高度な分析機器や検査装置は、導入後のメンテナンスや精度管理が極めて重要です。自社の技術スタッフが定期的に巡回訪問し不具合の発見と予防に努め、迅速な対応で常に安定した状態でお使いいただけるサポート体制を整えています。

お客様の仕事が円滑に進み、目指す研究成果が得られ、迅速・正確な検査が行なわれ、安心安全な商品が製造され、良質な生活環境が保たれること、それこそが私たちの目指す「お客様の役に立つ行動」であり、その積み重ねが、地域社会の発展につながるものと確信しています。

50年の歩みを、これからの力に

弊社は2027年に、創立50周年という大きな節目を迎えます。これまでの歩みを支えていただきましたお客様、メーカー・仕入先の皆様、そして地域社会の皆様に心より感謝申しあげます。

技術の進歩や社会環境の変化に伴い、研究・産業・医療の現場で求められるニーズは、ますます高度化・多様化・複雑化しています。これまで培ってきた経験と信頼を大切にしながら、変化するニーズを的確に捉え、お客様の期待を超える価値を提供できるよう努力を続けてまいります。

このたびの日本試薬協会への入会を機に、試薬および関連機器を取り扱う企業としての社会的責任を再確認するとともに、お客様の発展、地域の発展、そして人々の健康と安心に貢献できる企業であり続けたいと考えています。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

【会　社　概　要】

社　　名	大槻理化学株式会社
代 表 者	代表取締役社長　田中 伸一
創　　業	1963年7月1日
設　　立	1977年3月19日
資 本 金	4,250万円
社 員 数	59名(2026年4月1日現在:役員・嘱託を含む)
本　　社	北海道北見市卸町1丁目6番地2
営業拠点	北見市・釧路市・帯広市・札幌市
主要事業	試薬、臨床検査機器試薬、分析機器、科学機器、理化学器械器具、工業薬品等の販売、および関連機器の据付・メンテナンス



札幌営業部